

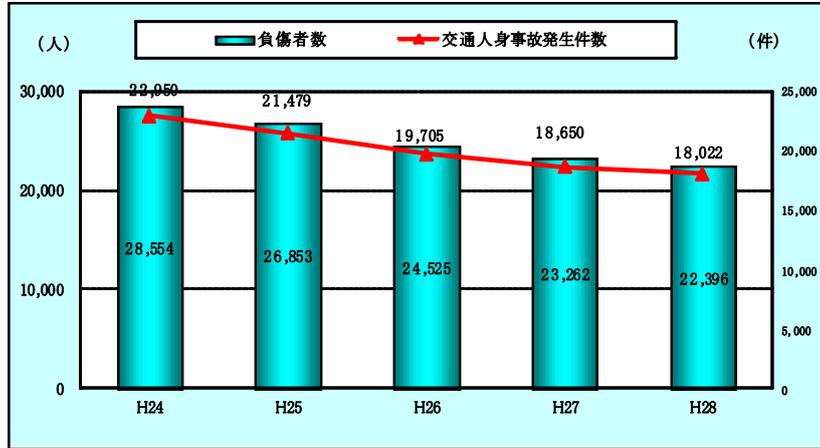
平成 28 年政策評価書

千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施 策	交通事故防止対策の推進と交通環境の整備
施 策 目 標	交通事故の減少と安全で快適な交通環境の整備
施策設定の背景	平成28年における交通人身事故発生状況は、発生件数、負傷者数ともに、前年よりも減少させることができましたが、死者数は増加し、全国ワースト2位と依然として厳しい交通情勢にあります。交通事故を1件でも多く減少させるため、きめ細かな交通安全教育や交通事故分析による総合的な交通事故防止対策を推進する必要があります。また、安全で快適な交通環境を確保するため、現状の交通流に即した信号制御の見直しを行い、道路交通の安全と円滑化を図る必要があります。
実施項目 1	総合的な交通事故防止対策の推進
推進結果 1	交通事故発生状況の分析結果に基づき、飲酒運転や速度超過、信号無視、一時不停止等の悪質・危険な違反に対する指導取締り、交差点での監視強化、関係機関・団体等と連携した高齢者に対する事故防止対策、自転車利用者へのルール厳守とマナー向上を目的とした交通安全教室の実施など、総合的な交通事故防止対策に取り組み、高齢者事故はほぼ横ばいであったものの、信号無視や一時不停止などの交差点事故やスピードの出し過ぎによる死亡事故を抑止しました。
実施項目 2	信号制御機の見直しによる円滑化対策
推進結果 2	交通事故や交通渋滞の発生状況を分析し、千葉市、市原市、野田市、佐倉市、成田市、匝瑳市、茂原市、浦安市、松戸市、印西市、香取市、木更津市及び我孫子市において、集中制御式信号47交差点及び系統制御式信号20交差点について、信号制御機の更新、車両感知器の更新と必要箇所への増設、および信号定数の再検討により、現状に合った信号制御の見直し等、高度化を行いました。
実績（成果）	<p>1 交通事故発生件数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生件数18,022件（前年比－628人）</li> <li>・負傷者数22,396人（前年比－866人）</li> <li>・交通事故死者数185人（前年比＋5人）</li> </ul> <p>2 渋滞解消効果による旅行時間の検証</p> <p>旅行時間の検証については、千葉市、市原市、佐倉市、成田市、浦安市、松戸市、印西市、香取市及び木更津市の信号制御機の高度化更新及び信号制御の見直しを行った箇所について15路線をピックアップし、事前事後で同一曜日を比較し、朝ピーク時間帯、午前閑散時、午後閑散時、夕ピークの4つの時間帯について調査を行いました。</p>

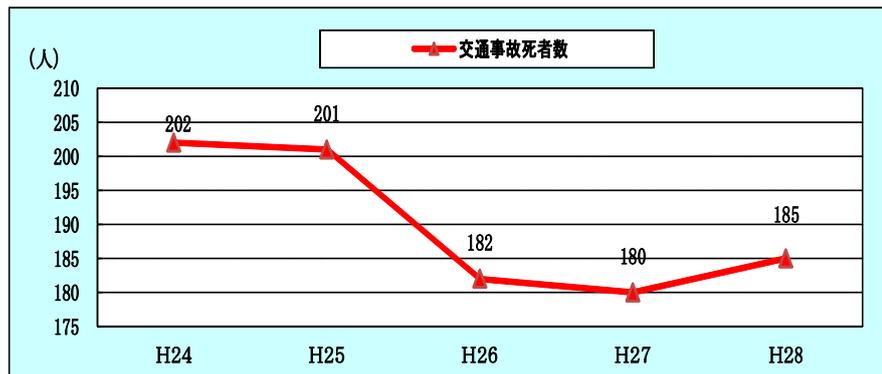
調査結果を踏まえ、木更津市周辺では、約1.4kmの間に設置された7つの信号交差点のうち、押ボタンを除く5交差点において系統化を行いました。その結果、上下方向での旅行時間の短縮を図ることができました。

実績（成果）指標  
参考指標

【交通人身事故発生件数、負傷者数の推移】

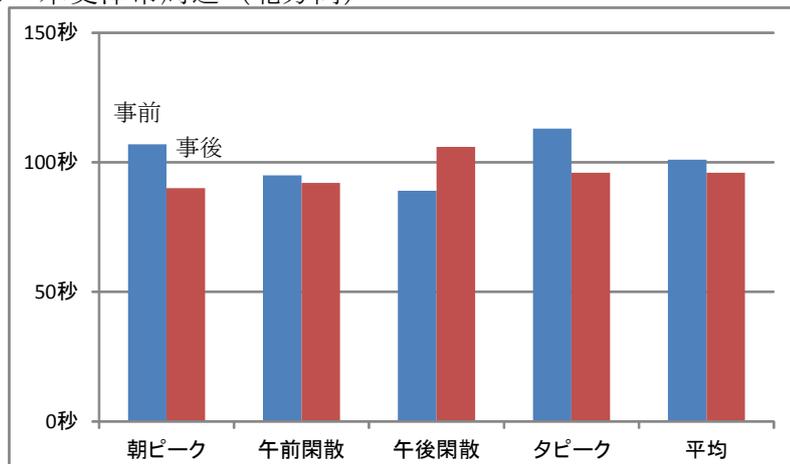


【交通事故死者数の推移】



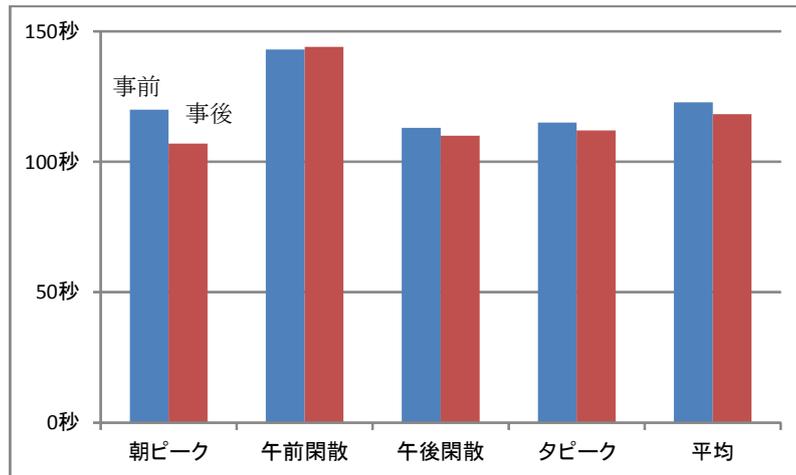
【渋滞解消効果による旅行時間の検証】

○ 木更津市周辺（北方向）



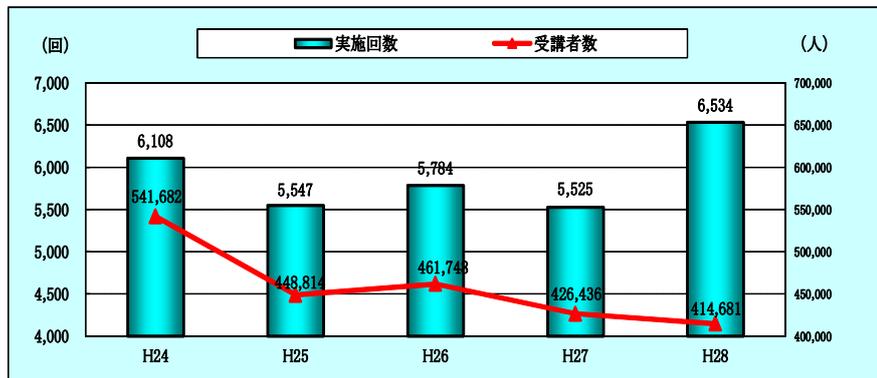
	朝ピーク	午前閑散	午後閑散	夕ピーク	平均
事前	107秒	95秒	89秒	113秒	101秒
事後	90秒	92秒	106秒	96秒	96秒
短縮時間	17秒	3秒	-17秒	17秒	5秒
短縮率	15.9%	3.2%	-19.1%	15.0%	5.0%

○ 木更津市周辺（南方向）



	朝ピーク	午前閑散	午後閑散	夕ピーク	平均
事前	120秒	143秒	113秒	115秒	123秒
事後	107秒	144秒	110秒	112秒	118秒
短縮時間	13秒	-1秒	3秒	3秒	5秒
短縮率	10.8%	-0.7%	2.7%	2.6%	3.7%

【交通安全教育回数の推移】



【交通管制センター集中制御エリア率】

千葉県内 信号機総数	集中制御 信号機数	エリア率
8,266基	2,918基	約35%

効 果

- 総合的な交通事故防止対策を推進した結果、交通事故発生件数、負傷者数が前年から減少し、交通事故の総量を抑止することができました。
- 千葉県内各所（千葉市、市原市、野田市、佐倉市、成田市、匝瑳市、茂原市、浦安市、松戸市、印西市、香取市、木更津市及び我孫子市）において、信号制御の見直しを行い、旅行時間短縮効果が認められました。

今後の課題  
及び方針

- 交通事故死者数が前年から増加しており、死者数のうち、年齢層別では高齢者が半数以上を占めていることから、高齢者の交通安全意識の高揚に向けた対策を推進していきます。

	2 今後さらに多くの信号機が更新時期を迎えるため、計画的な更新と合わせ、積極的な信号制御の見直しを行い、安全で円滑な道路交通環境を構築していきます。
施策主管課	交通部交通総務課及び交通部交通規制課
政策評価担当課	交通部交通総務課

注1：集中制御式信号機とは、交通状況に応じた信号時間の調整を交通管制センターから行う信号機をいいます。

注2：系統制御式信号機とは、曜日や時間帯により最適な青信号時間のパターンを選択し、連続する複数の信号機を関連づけて制御する信号機をいいます。

注3：エリア率とは、県内に整備されている全信号機のうち集中制御式信号機が整備されている割合をいいます。